

令和4年度 農作物病虫害発生予察6月月報

令和4年(2022年)7月4日
山口県病虫害防除所

I 気象概況

アメダス山口県山口地点

月・半旬	気 温 (°C)								
	平均			最 高			最 低		
	本年	平年	平年差	本年	平年	平年差	本年	平年	平年差
6.1	21.6	21.2	0.4	28.7	26.8	1.9	15.5	16.1	△ 0.6
6.2	21.1	21.8	△ 0.7	26.7	27.3	△ 0.6	16.3	17.1	△ 0.8
6.3	21.2	22.3	△ 1.1	25.4	27.7	△ 2.3	17.9	17.9	0.0
6.4	25.3	22.8	2.5	31.3	27.9	3.4	21.4	18.8	2.6
6.5	25.7	23.3	2.4	29.5	28.1	1.4	22.7	19.6	3.1
6.6	27.4	24.0	3.4	32.9	28.5	4.4	23.1	20.5	2.6
平均・計	23.7	22.6	1.2	29.1	27.7	1.4	19.5	18.3	1.2
月・半旬	降水量(mm)			日照時間(h)					
	本年	平年	平年差	本年	平年	平年差			
	本年	平年	平年差	本年	平年	平年差			
6.1	41.5	25.0	16.5	41.3	30.0	11.3			
6.2	28.0	29.1	△ 1.1	34.3	27.7	6.6			
6.3	17.5	37.4	△ 19.9	13.7	25.5	△ 11.8			
6.4	0.0	52.4	△ 52.4	30.2	22.8	7.4			
6.5	30.5	67.8	△ 37.3	11.0	19.2	△ 8.2			
6.6	0.0	79.2	△ 79.2	41.1	16.8	24.3			
平均・計	117.5	290.9	△ 173.4	171.6	142.0	29.6			

II 作物の生育状況

- (1) イネ : 用水不足等により、移植はやや遅れた。草丈は平年並～やや長く、茎数は概ね平年並である。
- (2) カンキツ : 温州みかんは、裏年で着果量が少なく、特に普通温州で着果量が少ない傾向が見られる。
- (3) ナシ : 果実肥大は、平年よりやや大きく推移している。

Ⅲ 病害虫の発生状況

1 普通作物

2022年6月

病害虫名	発生状況	発生地域	発生面積(ha)
イネ いもち病 (葉いもち) 中旬調査ほ場 数:71 下旬調査ほ場 数:83	6月15日に岩国市の補植用苗で初発生を確認し、初発生時期(平成6月12日)は平成並みであった。 本田では、6月27日に宇部市で初発生を確認し、初発生時期(平成6月26日)は平成並みであった。 中旬の巡回調査では、発生ほ場率0%(平成0.4%)、発病株率0%(平成0.1%)、発病度0(平成0.0)、1000株調査の発生ほ場率0%(平成0.4%)、発病株率0%(平成0.1%)で平成並みであった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率0%(平成0.4%)、発病株率0%(平成0.0%)、発病度0(平成0.0)、1000株調査の発生ほ場率2.4%(平成0.6%)、発病株率0.0%(平成0.0%)で平成並みであった。	県内全域	少 1
ばか苗病	下旬の巡回調査では、発生ほ場率0%(平成0.0%)、発病株率0%(平成0.0%)で平成並みであった。	—	—
縞葉枯病 萎縮病	下旬の巡回調査では、発生は認められず平成並みであった。	—	—
ツマグロヨコバイ	中旬の巡回調査では、発生ほ場率2.8%(平成3.2%)、0.0頭/10株(平成0.0頭/10株)で平成並みであった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率8.4%(平成8.1%)、10株当たり虫数0.4頭(平成0.2頭)で平成並みであった。	県内全域	多 226 少 1,357 1,583
ヒメトビウンカ	中旬の巡回調査では、発生ほ場率9.9%(平成37.9%)、0.1頭/10株(平成0.7頭/10株)で平成に比べ少なかった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率8.4%(平成6.4%)、10株当たり虫数0.7頭(平成0.2頭)で平成に比べやや多かった。 下旬の20回すくい取り調査では、発生ほ場率32.9%(平成19.3%)、1ほ場当たり虫数0.7頭(平成0.4頭)で平成に比べやや多かった。	県内全域	多 452 少 1,131 計 1,583

病害虫名	発生状況	発生地域	発生面積(ha)
イネ セジロウンカ	予察灯における誘殺数(5月28日～6月27日、4か所合計)は13頭(平年45.4頭)で平年に比べ少なかった。 中旬の巡回調査では、発生ほ場率0%(平年2.3%)、0頭/10株(平年0.0頭/10株)で平年並みであった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率2.4%(平年14.8%)、10株当たり虫数0.0頭(平年0.5頭)で平年に比べやや少なかった。 下旬の20回すくい取り調査では、発生ほ場率12.7%(平年18.0%)、1ほ場当たり虫数0.2頭(平年0.7頭)で平年並みであった。	県内全域	少 452
トビイロウンカ	6月27日に長門市のすくい取り調査で初確認し、初確認時期(平年7月10日)は平年並みであった。 予察灯における誘殺数(5月28日～6月27日、4か所合計)は0頭(平年0.1頭)で平年並みであった。 中旬及び下旬の巡回調査では、発生は認められず平年並みであった。 下旬の20回すくい取り調査では、発生ほ場率1.3%(平年0%)、1ほ場当たり虫数0.0頭(平年0頭)であった。	長門市	少 1
コブノメイガ	6月30日現在、確認されていない(平年初確認7月3日)。 6月6～30日の山口市大内のフェロモントラップによる誘殺数は、0頭(平年1.6頭)で平年並みであった。 下旬の巡回調査では発生ほ場率0%(平年0.1%)、被害葉率0%(平年0.0%)で平年並みであった。	—	—
イチモンジセセリ (イネツトムシ)	下旬の巡回調査では、発生ほ場率0%(平年4.6%)、10株当たりつと数0(平年0.0)で平年に比べ少なかった。	—	—
イネミズゾウムシ	中旬の巡回調査では、発生ほ場率28.2%(平年24.0%)、被害度1.6(平年1.7)、10株あたり虫数0.1(平年0.1)で平年並みであった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率27.7%(平年25.7%)、被害度0.8(平年1.6)、10株あたり虫数0.0(平年0.0)で平年に比べやや少なかった。	県内全域	少 5,201

病害虫名	発生状況	発生地域	発生面積 (ha)
イネ イネゾウムシ	中旬の巡回調査では、発生ほ場率11.3% (平年7.1%)、被害株率3.4% (平年1.1%) で平年に比べ多かった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率13.3% (平年9.4%)、被害株率2.0% (平年1.0%) で平年に比べやや多かった。	県内全域	多 226 中 226 少 2,035 計 2,487
フタオビコヤガ	中旬および下旬の巡回調査では、発生が認められず、平年並みであった。	—	—
イネカラバエ	中旬の巡回調査では、発生ほ場率8.5% (平年1.5%)、被害株率0.8% (平年0.1%) で平年に比べ多かった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率4.8% (平年1.1%)、被害株率0.3% (平年0.1%) で平年に比べやや多かった。	県内全域	中 226 少 1,131 計 1,357
ニカメイガ	予察灯による誘殺はなく、平年並みであった。	—	—
イネドロオイムシ	中旬の巡回調査では、発生は認められず平年並みであった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平年0.6%)、被害度0 (平年0.0) で平年並みであった。	—	—
斑点米カメムシ類	予察灯における誘殺数(5月26日～6月25日、4か所合計)は、472頭 (平年139.3頭) で平年に比べ多かった。内訳は、クモヘリカメムシ3頭 (平年2.9頭、平年並)、アカスジカスミカメ319頭 (平年90.5頭、多)、アカヒゲホソミドリカスミカメ142頭 (平年42.3頭、多)、ミナミアオカメムシ5頭 (平年2.6頭、やや多)、アオクサカメムシ3頭 (平年1.0頭、多)、イネカメムシ0頭 (平年0.2頭、平年並) であった。 柳井市、山口市の極早期栽培地域のイネ科雑草地における20回すくい取り調査では、62.6頭 (平年87.0頭) で平年並みであった。主要種は、アカスジカスミカメ40.2頭 (平年65.8頭、平年並)、ホソハリカメムシ5.0頭 (平年4.7頭、平年並)、シラホシカメムシ1.0頭 (平年1.7頭、平年並)、クモヘリカメムシ3.2頭 (平年3.9頭、平年並) であった。	—	—

病害虫名	発生状況	発生地域	発生面積 (ha)	
カンキツ (調査ほ場数:19) かいよう病	下旬の巡回調査では、発生ほ場率10.5% (平年9.1%)、発病葉率0.5% (平年0.7%)、発病果率0% (平年0.0%) で平年並みであった。	県内全域	少	113
そうか病	下旬の巡回調査では、発生ほ場率10.5% (平年2.5%)、発病葉率0.2% (平年0.1%)、発病果率0.1% (平年0.1%) でやや多かった。	県内全域	少	113
黒点病	下旬の巡回調査では、発生ほ場率5.3% (平年26.1%)、発病果率0.1% (平年1.9%) で平年に比べやや少なかった。	県内全域	少	57
灰色かび病	下旬の巡回調査では、発生ほ場率5.3% (平年40.6%)、発病果率0.1% (平年1.7%) で平年に比べ少なかった。	県内全域	少	57
ミカンハダニ	下旬の巡回調査では、発生ほ場率42.1% (平年30.2%)、寄生葉率13.7% (平年3.8%) で平年に比べ多かった。	県内全域	多 中 少	113 113 227
			計	453
ミカンサビダニ	下旬の巡回調査では、発生は認められず平年並みであった。	—	—	—
チャノキイロアザ ミウマ	下旬の巡回調査では、発生は認められず平年並みであった。	—	—	—
ナシマルカイガラ ムシ	下旬の巡回調査では、発生ほ場率10.5% (平年4.0%)、寄生果率0.1% (平年0.2%) で平年に比べやや多かった。	県内全域	少	113
イセリアカイガラ ムシ	下旬の巡回調査では、発生ほ場率5.3% (平年5.6%) で平年並みであった。	県内全域	少	57
アブラムシ類	下旬の巡回調査では、発生ほ場率5.3% (平年25.2%)、寄生新梢率0.1% (平年0.1%) で平年並みであった。	県内全域	少	57
ナシ (調査ほ場数:15) 黒斑病 (二十世紀:9)	6月27日に美祢市で初発生を確認し、初発生時期 (平年6月23日) は平年に比べやや遅かった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平年22.7%)、発病葉率0% (平年0.1%)、発病新梢率0% (平年0.8%) で平年に比べ少なかった。	美祢市	少	1
黒星病	下旬の巡回調査では、発生ほ場率13.3% (平年17.3%)、発病葉率0.6% (平年0.7%) で平年並みであった。	県内全域	中 少	11 11
			計	22
うどんこ病	下旬の巡回調査では、発生は認められず、平年並みであった。	—	—	—

病害虫名	発生状況	発生地域	発生面積(ha)	
ナシ アブラムシ類	下旬の巡回調査では、発生ほ場率26.7% (平年27.3%)、寄生新梢率12.5% (平年3.8%)で平年に比べやや多かった。優占種はワタアブラムシであった。	県内全域	甚	22
			少	22
			計	44
ハダニ類	下旬の巡回調査では、発生ほ場率13.3% (平年4.0%)、寄生葉率0.3% (平年0.3%)で平年並みであった。	県内全域	少	22
ニセナシサビダニ	下旬の巡回調査では、発生ほ場率26.7% (平年23.3%)、寄生新梢率0.5% (平年3.5%)で平年に比べやや少なかった。	県内全域	少	43
ハマキムシ類	下旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平年0.7%)、寄生新梢率0% (平年0.0%)で平年並みであった。	—	—	—
シンクイムシ類	萩市小川におけるナシヒメシンクイのフェロモントラップによる5月26日～6月25日の誘殺数は、26頭(平年24.8頭)で平年並みであった。	—	—	—
チュウゴクナシキジラミ	下旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平年4.8%)、寄生葉率0% (平年0.1%)で平年並みであった。	—	—	—
キウイフルーツ (調査ほ場数:3) かいよう病	下旬の巡回調査では、発生ほ場率33.3% (前年33.3%)、発病葉率10.8% (前年4.1%)であった。	下関市	中	1
果樹全般 カメムシ類 (チャバネアオカ メムシ、ツヤアオ カメムシ、クサギ カメムシ)	予察灯(5月26日～6月25日、5か所合計)における誘殺数は151頭(平年98.6頭)で平年に比べやや多かった。フェロモントラップによるチャバネアオカメムシの誘殺数(5月26日～6月25日、5か所合計)は1,838頭(平年1,001頭)で平年に比べやや多かった。	—	—	—

3 野菜

病害虫名	発生状況	発生地域	発生面積(ha)
野菜、花き類 アブラムシ類	山口市大内の黄色水盤トラップによる誘殺数(6月1日～30日)は、181頭(平年241頭)で平年並みであった。	—	—

病害虫名	発生状況	発生地域	発生面積(ha)																								
野菜、花き類 ハスモンヨトウ	<p>山口市大内のフェロモントラップによる誘殺数(6月1日～30日)は、311頭(平年452頭)で平年並みであった。 県内5か所のフェロモントラップの誘殺数(5月20日～6月19日)は184頭(平年700頭)で平年に比べやや少なかった。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="3">フェロモントラップでの誘殺数(頭)</th> </tr> <tr> <th>地点</th> <th>本年</th> <th>平年</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>周南市熊毛</td> <td>3</td> <td>215</td> </tr> <tr> <td>山口市阿東</td> <td>35</td> <td>168</td> </tr> <tr> <td>萩市明木</td> <td>16</td> <td>60</td> </tr> <tr> <td>下関市清末</td> <td>108</td> <td>266</td> </tr> <tr> <td>柳井市伊陸</td> <td>22</td> <td>130</td> </tr> <tr> <td colspan="3">※5月20日～6月19日の合計</td> </tr> </tbody> </table>	フェロモントラップでの誘殺数(頭)			地点	本年	平年	周南市熊毛	3	215	山口市阿東	35	168	萩市明木	16	60	下関市清末	108	266	柳井市伊陸	22	130	※5月20日～6月19日の合計			—	—
フェロモントラップでの誘殺数(頭)																											
地点	本年	平年																									
周南市熊毛	3	215																									
山口市阿東	35	168																									
萩市明木	16	60																									
下関市清末	108	266																									
柳井市伊陸	22	130																									
※5月20日～6月19日の合計																											
オオタバコガ	山口市大内のフェロモントラップによる誘殺数(6月1日～30日)は、55頭(平年11.1頭)で平年に比べ多かった。	—	—																								
シロイチモジヨトウ	山口市大内のフェロモントラップによる誘殺数(6月1日～30日)は、8頭(平年11.0頭)で平年並みであった。	—	—																								

お問い合わせ先
 山口県病害虫防除所
 TEL (083)927-4006
 E-mail a172011@pref.yamaguchi.lg.jp